



S.Naka

THE KANSAI TELEVISION CO.LTD.SHO ROSE STAKES

第43回 関西テレビ放送賞 ローズステークス (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 52,000,000円 21,000,000円 13,000,000円 7,800,000円 5,200,000円
付加賞 1,302,000円 372,000円 186,000円



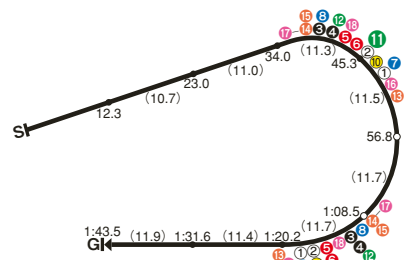
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.9.14 阪神 晴・良 芝1800m (国際) (指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 600m (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑪	カムニャック	牝3	55	川田将雅	1:43.5	6-7	34.4	482(+8)	2.9①	友道康夫(栗東)	114
2	⑩	テレサ	牝3	55	松山弘平	1½	5-5	34.7	438(+6)	20.0⑦	杉山晴紀(栗東)	111
3	⑭	セナスタイル	牝3	55	岩田康誠	クビ	15-15	34.0	434(-4)	40.2⑩	安田翔伍(栗東)	110
4	⑧	ビップテイジー	牝3	55	西村淳也	クビ	9-10	34.5	432(-6)	52.8⑪	松下武士(栗東)	110
5	②	ミッキーマドンナ	牝3	55	J.モレイラ	クビ	6-5	34.8	458(±0)	8.8⑤	堀 宣行(美浦)	
6	⑥	ヴァレヴ	牝3	55	浜中 俊	¾	8-7	34.8	488(+16)	64.3⑫	武幸四郎(栗東)	
7	⑫	マトラコーニッシュ	牝3	55	池添謙一	クビ	11-11	34.6	432(-2)	81.5⑬	池添 学(栗東)	
8	⑤	バラディレーヌ	牝3	55	丹内祐次	ハナ	9-7	34.8	496(-2)	5.9③	千田輝彦(栗東)	
9	⑨	タイセイブランセス	牝3	55	石橋 脩	クビ	15-15	34.3	410(+10)	20.6⑧	池上昌和(美浦)	
10	①	ルージュソリテール	牝3	55	横山武史	アタマ	3-3	35.3	448(+20)	8.5④	藤原英昭(栗東)	
11	④	フェアリーライク	牝3	55	武 豊	1¾	11-11	35.0	464(-14)	35.1⑨	笹田和秀(栗東)	
12	⑬	アイサンサン	牝3	55	田山旺佑	¾	1-1	36.1	458(+8)	91.1⑭	佐々木晶三(栗東)	
13	③	チェルビアット	牝3	55	C.ルメール	¾	13-14	35.1	486(+8)	5.7②	高野友和(栗東)	
14	⑮	コンドウアイ	牝3	55	藤岡虎太	5	2-2	37.1	490(±0)	157.5⑮	井上智史(栗東)	
15	⑦	ランフォーヴァウ	牝3	55	横山典弘	1¼	17-17	35.4	464(+16)	109.3⑯	福永祐一(栗東)	
16	⑦	ミッキージュエリー	牝3	55	岩田望来	3	3-3	37.5	492(-8)	8.9⑥	中内田充正(栗東)	
17	③	ダンツエラン	牝3	55	団野大成	2½	13-11	37.3	490(+6)	229.6⑰	本田 優(栗東)	
除外	⑨	タガノアビー	牝3	55	藤岡佑介				494(-4)		千田輝彦(栗東)	

単勝⑪290円(1¼) 複勝⑪140円(1¼) ⑩⑥500円(7¼) ⑭⑧40円(10¼) 枠連⑤-⑥1,190円(6¼)
馬連⑩-⑪3,500円(15¼) ワイド⑩-⑪1,220円(14¼) ⑪-⑭1,880円(18¼) ⑩-⑭8,260円(61¼)
馬単⑩-⑪6,640円(24¼) 3連複⑩-⑪-⑭29,720円(86¼) 3連単⑪-⑩-⑭121,090円(346¼)
5重勝⑥①③③①8,776,950円(51票) 対象競走: 阪神9R/中山10R/阪神10R/中山11R/阪神11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
34.0 - 45.3 - 56.8 46.7 - 35.0

アラルカト

- ・川田将雅騎手はクイーンズウォークで制した24年に続くローズS6勝目。JRA重賞は本年7勝目、通算149勝目
- ・友道康夫調教師はローズS初勝利。JRA重賞は本年6勝目、通算77勝目
- ・ブラックタイド産駒はJRA重賞通算21勝目
- ・タガノアビーは馬場入場後に疾病[右前肢跛行]を発症したため競走除外
- ・カムニャック、テレサ、セナスタイルは秋華賞(GI)に優先出走できる

カムニャック *Kamunyak*

牝 鹿毛 2022.4.14生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・金子真人ホールディングス(株) 栗東・友道康夫厩舎
馬名意味・祝福された者(サンプル語)

ダンシングキイUSA系 F7

ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	ウインドインハーヘアIRE 鹿毛 1991	Alzao Burghclere
ダンスアミーガ 栗毛 2011	サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー サクラハゴロモ
	ダンスオールナイト 鹿毛 2003	エルコンドルパサーUSA ダンスパートナー

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S2×M4
Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

栗原渉厩舎長(山元トレーニングセンター・育成)

最高の結果になると信じています

オークス1着後、競馬場から直接こちらに戻ってきました。飼い葉もしっかりと食べて回復度合いも良好で、6月14日から騎乗を開始。体重も500kgほど増え、心身両面のエナジーチャージを図ったうえで友道厩舎に引き継ぎました。レースは今まで味わったことのない緊張感を持って見ました。秋華賞ではさらに緊張しそうですが、最高の結果になると信じています。

S.Setoguchi



直線入口のアクシデントは非凡な精神力をかえって浮き彫りに。クラシック候補と脚光を浴びた中京の新馬戦、抽選をクリアして出走にこぎつけたフローラS、そしてオークスと、ここまでの3勝はすべて左回りで挙げた本馬だが、右回りコースも割引材料ではないことを秋の始動戦で証明した。レコードに0秒5差と迫る勝ちタイム(分43秒8)は今秋の阪神開催を通じて最速時計。弾みをつけて臨む秋華賞は、檜の女王が挑む二冠制覇の成否が最大の焦点となりそうだ。

最後は手綱を緩められてゴールに飛び込んだ。

を凌駕する末脚を發揮。坂上で先頭へ抜け出し、横一線の2着争いを尻目に最後は手綱を緩められてゴールに飛び込んだ。

4コーナーから徐々に差を詰め、加速にかかろうとした直線の入口、カムニャックは玉突き状の接触に巻き込まれ、バランスを崩してしまふ。それでも闘志の糸は切れず、川田騎手が態勢を立て直して追い出すとライバルたち

父ブラックタイド

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央22戦3勝(スプリングS^{GⅡ}、若駒S^{GⅡ}、きさらぎ賞^{GⅢ}2着、中山金杯^{GⅢ}3着)、09年から供用
〔代表産駒〕キタサンブラック(ジャパンC^{GⅠ}、菊花賞^{GⅠ}、天皇賞(春)^{GⅠ}2回、天皇賞(秋)^{GⅠ}、有馬記念^{GⅠ}、大阪杯^{GⅠ}、年度代表馬2回)、カムニャック(本馬)、タガノエスプレッソ(デシリール杯2歳S^{GⅡ}、京都ハイジャンプJ^{GⅡ}、京都ジャンプS^{J・GⅢ}、阪神ジャンプS^{J・GⅢ})、ティエムイナズマ(デシリール杯2歳S^{GⅡ})、マイネルフロスト(毎日杯^{GⅢ}、日本ダービー^{GⅠ}3着)、フェーングロッテン(ラジオNIKKEI賞^{GⅢ})、ライジングリーズン(フェアリーS^{GⅢ})、ディーブダイバー(橘S・L)

母ダンスアミーガ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央26戦5勝(仲秋S、長岡S、五頭連峰特別、ターコイズS<重賞>2着)

ミリタリータンゴ(18 牡父エイシンフラッシュ)中央10戦1勝、障害10戦0勝
ラウルビドゥ(19 牡父ハービンジャーGB)中央26戦2勝
ラバタンシン(20 牡父エピファネイア)中央19戦0勝、障害1戦0勝、地方21戦0勝

キープカラム(21 牡父ロードカナロア)中央16戦5勝(しらかぎS^{GⅢ}、キセキC、木更津特別、ひめぎゆり賞、ダービー卿チャレンジトロフィー^{GⅢ}3着、リゲルS・L3着、若葉S・L3着)⑩

カムニャック 本馬(22 牝父ブラックタイド)中央6戦4勝(オークス^{GⅠ}、ローズS^{GⅡ}、フローラS^{GⅢ}) 獲得総賞金297,723,000円
プレイザリッド(23 牡父ギズナ)中央1戦0勝 ⑩

(24 流産)

(25 牝父エピファネイア)

祖母ダンスオールナイト

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5勝(初音S、中山牝馬S^{GⅢ}3着)、16年死亡
ダンスアミーガ(11 前出)

ヨカグラ(13 騾父ハービンジャーGB)中央1勝、障害4勝(小倉サマージャンプJ^{GⅢ}、東京ハイジャンプJ^{GⅡ}2着)

曾祖母ダンスパートナー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央4勝(オークス^{GⅠ}、エリザベス女王杯^{GⅠ}、京阪杯^{GⅢ}、桜花賞^{GⅠ}2着、エリザベス女王杯^{GⅠ}2着)、香港 仏0勝(ノネット賞・仏^{GⅢ}2着)、最優秀3歳牝馬、最優秀4歳以上牝馬、14年用途変更、フェデラリスト(中山記念^{GⅢ}、種牡馬)、ロンギングダンサー(新潟記念^{GⅢ}3着、種牡馬)の母

檜の女王が二冠制覇へ向けて好発進

ステップレースはパスし、本番へ直行するGⅠ馬が増えた近年だが、関西の秋華賞トライアル・ローズSにはオークス馬カムニャックが出走。フィリーズレビュー2着、NHKマイルCでも僅差の3着に追い込んだチエルビアット、フラワーC2着、オークス4着のバラディレーヌらを抑え、1番人気の支持を集めた。2016年のシンハライト(一着以来9年ぶりにローズSへ参戦した檜の女王は、実績に違わぬパフォーマンスを披露。本番に直行する桜の女王エンブroidリーに対し、まずは先取点を獲得した。

外枠から好スタートを切ったアイサンサンと、最内枠からスピードに乗っ

たルージュソリテールが序盤は雁行。

このうちアイサンサンが先手を奪い切ったものの、これにコンドウアが並びかけ、かなりのハイペース(前半1000mの通過は56秒8)でレースは進む。カムニャックの川田将雅騎手は、馬と呼吸を合わせて6、7番手を追走。

スタートで立ち遅れたチエルビアットとバラディレーヌは、ともに中国馬群の後方で末脚勝負に構えた。